

第1回沼田市立地適正化計画策定協議会 議事概要

日時:令和6年2月19日(月) 13:30~15:30

会場:テラス沼田5階 第2委員会室

1. 開会	事務局(松井課長)
2. あいさつ	星野市長
3. 会長及び副会長の選出	事務局(渡邊部長)
4. 協議事項	
(1) 立地適正化計画策定の背景とねらい	事務局(松井課長、高岡主任)
(2) 現況と課題の分析	事務局(日本工営)
(3) 市民意向の分析把握結果	事務局(日本工営)
5. その他	事務局(松井係長)
6. 閉会	事務局(松井課長)

<配布資料>

- ・第1回沼田市立地適正化計画策定協議会次第
- ・沼田市立地適正化計画策定協議会名簿
- ・資料1:立地適正化計画策定の背景とねらい
- ・資料2:現況と課題の分析
- ・資料3:市民意向の分析把握結果
- ・別紙1:都市構造再編集中支援事業
- ・別紙2:コンパクトシティの形成に関連する支援施策集
- ・別紙3:参考資料(別添)
- ・別紙4:自治体独自の支援メニュー
- ・別紙5:立地適正化計画に係る市町村独自の支援制度(令和5年3月末時点)

発言者	発言内容
<p>1 開会</p> <p>事務局(松井課長)</p>	<p>都市再生特別措置法に規定する立地適正化計画を策定する際には、庁内に限らず関係する組織及び団体との調整が求められると共に、学識経験者及び市民等の意見を反映することも重要であるため、本協議会は、これらの協議、調整、意見聴取を行う場とするものである。</p> <p>庁内委員会です承された協議内容について審議いただき、結果を市長に報告することとなっている。委員の任期は計画策定の令和8年3月までとする。</p> <p>はじめに、市長より挨拶をいただく。</p>
<p>2 あいさつ</p> <p>市長</p>	<p>本日もご出席いただいたことに感謝する。また、日頃から沼田市政運営に対して特段のご指導とご協力を賜り感謝を申し上げる。沼田市立地適正化計画策定委員のご快諾いただいたことに重ねて感謝申し上げます。</p> <p>立地適正化計画については、人口減少と高齢化が加速する中であっても、安心と快適な暮らしができるよう、長期的な時間軸の中で持続的なまちづくりを目指していくものである。詳細は事務局より説明を差し上げるが、委員の皆様には、ご専門の立場から特段のご指導を賜りますようお願い申し上げます。</p>
<p>3 会長及び副会長の選出</p> <p>事務局(松井課長)</p> <p>森田会長</p> <p>松井副会長</p> <p>事務局(松井課長)</p>	<p>会長及び副会長の選出について、本協議会の設置要綱第5条に基づき、指名推薦により、会長には前橋工科大学教授の森田哲夫委員、副会長には沼田市社会福祉協議会常務理事の松井弘樹委員を選定した。森田会長、松井副会長よりご挨拶いただく。</p> <p>皆様には、所属団体の立場で、また委員として、ご意見をいただきたいと思う。立地適正化計画策定協議会は、沼田市をどのような街にしたいかを話し合う機会である。会長として、そのように進行していきたい。</p> <p>副会長という立場で、会長を補佐させていただく。ぜひ委員の皆様のご協力をいただき、目的を達成できるよう進めていきたい。</p> <p>要綱第6条に基づき、以降は会長を議長として進行いただく。</p>

<p>4 協議事項</p>	
<p>事務局(高岡氏)</p>	<p>(1) 立地適正化計画策定の背景とねらいについて説明</p>
<p>森田会長</p>	<p>立地適正化計画は、コンパクトシティ・プラス・ネットワークに関する計画である。全国、特に中都市で人口が減少する中で、都市のスポンジ化が見られている。こうした中で、ある程度都市機能を集中させ、これからの生活を考えるというものがコンパクトシティである。プラス・ネットワークとは、コンパクトシティに公共交通を加えていく考え方である。</p> <p>都市、交通に限らず、医療、福祉、環境、教育、商業、観光すべてに関係する法定計画である。本協議会は、法律に基づく法定協議会であり、皆様にはその委員として参画いただいている。</p> <p>立地適正化計画の県内での策定状況について、剣持委員よりご説明いただけるか。</p>
<p>剣持委員</p>	<p>県内 35 市町村のうち、27 市町村が都市計画区域を設定している。そのうち、13 市町が立地適正化計画を策定済である。沼田市にはぜひ策定いただきたいと考える。</p> <p>今回は、立地適正化計画に防災指針に関する取り組みを盛り込むということで、バージョンアップされた内容となる。また、これまでの立地適正化計画の多くは、都市計画区域内でできる限りコンパクトにする形であったが、別府市のように、都市計画区域外も含めて都市を全体的に見た上で拠点を選定していく先進事例もある。そうした事例を踏まえて、法律改正もなされたところである。沼田市の場合、白沢地区のような集落も含めて拠点としていくことが考えられるが、県内でも初の取組となるため、全市的な視点のもとで先進的に進めていただきたい。</p>
<p>森田会長</p>	<p>スケジュールについて質問したい。第 2 回協議会は1年後に開催予定だが、その間、委員に対しての情報共有は行われる予定か。</p>
<p>事務局(松井係長)</p>	<p>資料 1 の 15 ページに記載の通り、令和 6 年度に庁内の幹事会、委員会をそれぞれ 3 回開催した上で、第 2 回協議会を開催予定である。しかし、次回協議会までに1年ほど期間が空くため、場合によっては中間時期での開催可能性もある。重要事項については、委員へ情報共有をする。</p>
<p>森田会長</p>	<p>誘導区域等の案については、決定したものではなく、委員で協議できる形での共有をお願いしたい。</p>

松井副会長	合併後、沼田市はエリアが非常に広くなり、集落も点在している。ネットワークということで、公共交通で繋いでいく際に、福祉の観点でいえば、高齢者の買物や通院にどのように公共交通を活用するかという点を含めて考えていかなければならない。居住誘導も含めて検討するという点で、期待をしたい。
森田会長	立地適正化計画は仕組み、ルールでしかない。仕組みを使い、皆様が沼田をどのような街にしていきたいかという思いを込めていただきたい。
事務局(日本工営)	<p>(2) 現況と課題の分析について説明</p> <p>(3) 市民意向の分析把握結果について説明</p>
森田会長	分量が多いため、資料は Word 形式ではなく、PPT 形式にいただきたい。
森田会長	<p>資料 1 の 2 ページについて補足する。市全体で 4 万 5 千人ほどが居住している。都市計画区域に 3 万 3 千人、用途地域に 2 万 2 千人が居住している。将来的に、人口は 2 万 7 千人に減少する予測となっている。居住誘導区域というのは、用途地域を縮めた上で、その中に都市機能誘導区域、都市計画区域外に地域生活拠点を設置するというものになる。現況分析から抽出された「分野別の課題の整理」の内容は、どの市にも当てはまることが列挙されている。一方で、沼田市独自の課題にも焦点を当てる必要がある。</p> <p>市民アンケート調査結果は、データをどのように生かすかが重要である。例えば、7 割が「住み続けたい」と回答しているが、データを相対的に見る必要がある。沼田市に限らず群馬県内の市町村は、居住継続意向が高い。</p> <p>こうした点も含めて、意見があればお願いしたい。</p>
真下委員	特に沼田市について考えた場合、地形的な問題を考慮することが重要と考える。
森田会長	防災は命に関わるため、重要事項である。
前川委員	トラック、バス、タクシーは元来、残業時間が非常に多い業界であるが、

<p>森田会長</p>	<p>今年 4 月 1 日以降、残業時間削減の具体的な取組が進行している。実際に、前橋市や高崎市等でも一部路線が廃止されることとなった。法律に則ると、従来通りの運行を継続するためには乗務員を増員する必要があるが、コストの面で増員する余裕はない。不採算路線の廃止はやむを得ない状況である。</p> <p>沼田市には地域公共交通会議もあるが、市民がどの部分の強化を望んでいるかという要望を把握できると良い。</p> <p>移住、交流人口、空き家など様々なテーマがあるが、立地適正化計画として目標をどのように設定するか、都市機能誘導地域、都市機能施設をどうするかを考えていく必要がある。</p> <p>どこに力を入れていくのかというポイントが明確に分かるよう、実効性が高く、シャープにまとめていかなければならない。そのためには、策定にかける期間が短すぎるのではないか。</p> <p>業務委託業者においても、地域の歴史文化を視察し反映いただきたい。</p>
<p>松井副会長</p>	<p>市民の要望を全て取り入れ、全ての人が幸せに暮らしていけるような計画を絵に描いた餅にならないように作成していただきたい。沼田らしさを反映していただきたい。</p>
<p>事務局(日本工営)</p>	<p>都市計画区域外の居住者が多く、白沢地区等では地区内で生活が成り立っている点が沼田市の大きな特徴と考える。地域の特徴が前面に出るような資料作成に努めたい。</p>
<p>事務局(松井係長)</p>	<p>沼田市の色が重要となる。市街地における人口密度の低下を放置すると、商業施設の撤退、公共交通の減便が深刻化し、さらに不便さが増していくと、沼田市の存続にも関わってくる。</p> <p>立地適正化計画は、長期的な時間軸の中で緩やかに居住を誘導していくものである。次世代に沼田を引き継いでいけるようにしていくのが我々の責任と考える。</p> <p>コンパクトシティの制度創設後 10 年が経過した今、なぜ立地適正化計画の策定に取り組むかについて説明したい。沼田市では現在、企業進出、企業団地の整備に力を入れている。企業が沼田市を選ぶ際に、将来にわたって都市を維持する計画を有していることを発信したいと考える。</p>
<p>小坂委員</p>	<p>協議会は、委員が集い議論をする貴重な機会であるため、資料説明に</p>

<p>森田会長</p>	<p>大半の時間が使われることのないよう、資料の事前配布をお願いしたい。</p> <p>何か意見があれば、事務局に連絡いただければと思う。</p>
<p>5 その他 事務局(松井係長)</p>	<p>市の都市計画課へいつでもメール等、ご連絡いただきたい。</p> <p>事業の進捗に合わせて、議論の場を設けたいと思う。1～2か月前には開催案内をさせていただくと共に、資料の事前配布も対応させていただきたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>